

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス			
教科目名	倫理	担当教員	高原幸子
学年学科	2年 C・A科	通年	必修 2単位
学習・教育目標	(A-1) 100%		JABEE 基準 1 (1) (a) 50%、(f) 50%
<p>倫理は、人間の精神が自然環境との関わりのなかにおいて問ひかけ、模索する過程を表している。先人の思想に触れ、思索を試みるということは、簡単には解決や判断ができにくい問ひに取り組むということでもある。</p> <p>人間らしさという性質の一つ取り上げても、理性や幸福や権利や寛容といった分野において、歴史的背景をもとに思考しなければならない。</p> <p>こうしたなかで、次の3点を到達目標に置きながら、授業を進めていきたい。</p> <p>(1) 思索の源流と呼べる思想や宗教を知る。</p> <p>(2) 近代社会の倫理問題を考察する。</p> <p>(3) 現代社会の科学技術、国際社会、平和などについて倫理的思考を身に着ける。</p>		<p>成績評価の方法：</p> <p>以下の総得点500点に占める得点率で最終評価を行なう。</p> <p>前期：中間試験100点+期末試験100点+2回のレポート課題提出50点 後期：中間試験100点+期末試験100点+2回のレポート課題提出50点</p> <p>達成度評価の基準：</p> <p>以下の各要素についての達成度を成績評価の基準とする。</p> <p>1. 世界の主な思想・宗教について正しい知識を習得したか 2. 日本の主な思想・宗教について正しい知識を習得したか。 3. 現実の諸問題について倫理的判断を下し、それを論理的に述べる力が身についたか。</p>	
<p>授業の進め方とアドバイス：</p> <p>教科書・プリント等を用いた講義形式で行なう。ただし一部の回では参加型議論を行う。</p> <p>具体的なアドバイスは次の通り。</p> <p>(1) 受講者の疑問に関して積極的に発言すること。</p> <p>(2) 日々のニュースをチェックして社会問題に関心をもち、講義に登場する思想との関連性を考えてみよう。</p> <p>(3) 授業中に紹介する参考図書にもできるだけ触れてほしい。</p>			
<p>教科書および参考書：</p> <p>授業の必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>なお、授業に関連する参考図書を適宜紹介する。</p>			
授業の概要と予定：前期			AL のレベル
第 1 回：倫理の問ひ			
第 2 回：自己と他者			
第 3 回：技術と社会			
第 4 回：古代ギリシア思想			
第 5 回：キリスト教の変遷			
第 6 回：イスラーム教の変遷			
第 7 回：仏教の変遷			
第 8 回：中間試験			
第 9 回：ルネッサンスと宗教改革			
第 10 回：近代科学の考え方			
第 11 回：民主主義の考え方			
第 12 回：近代の理性的な人間像			
第 13 回：人間と働くこと			
第 14 回：幸福と創造的知性			
期末試験			
第 15 回：中国思想の変遷			

授業の概要と予定：後期	AL のレベル
第16回：日本の風土と文化	
第17回：日本の仏教	
第18回：日本の近世思想	
第19回：啓蒙思想と自由民権運動	
第20回：近代化と民衆思想	
第21回：近代的自我	
第22回：人間解放の思想	
第23回：中間試験	
第24回：戦後の日本の思想	
第25回：現代の実存主義	
第26回：生命の尊重とヒューマニズムの思想	
第27回：民衆の伝承と自然環境の保存	
第28回：構造主義と近代社会への批判	
第29回：戦争と平和	
期末試験	
第30回：科学技術と地球環境	

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
1	世界の主な思想・宗教に関する問題を正確に答えられる (8割程度)	世界の主な思想・宗教に関する問題をおおよそ正確に答えられる(6割程度)	世界の主な思想・宗教に関する問題を正確に答えられない
2	日本の主な思想・宗教に関する問題を正確に答えられる (8割程度)	日本の主な思想・宗教に関する問題をおおよそ正確に答えられる (6割程度)	日本の主な思想・宗教に関する問題を正確に答えられない
3	倫理的判断力を養い、自己の見解を論理的に述べる事が出来る	倫理的判断力を養い、自己の見解を論理的に述べる事がやや出来る	倫理的判断力を養い、自己の見解を論理的に述べる事がほとんど出来ない